

**令和元年度における  
読書活動推進施策について  
(報告)**

令和2年6月

**秋田県読書活動推進本部**

# 目 次

I	はじめに	1
II	第2次基本計画の概要と施策推進状況	2
III	読書活動推進施策	9
1	家庭における読書活動の推進	
◆	あなたの「読みたい！」をサポートします	
(1)	「家族で読書」運動の提唱と普及	9
(2)	子どもの読書推進	9
(3)	中・高校生の読書推進	10
(4)	高齢者の読書推進	10
(5)	図書館の利便性向上と利用促進	11
◆	「読書は楽しい！」の気持ちを広げます	
(1)	読み聞かせお薦め絵本の紹介	12
(2)	ホームページやブログ等を活用した情報発信	13
2	学校・職場における読書活動の推進	
◆	あなたの「読みたい！」をサポートします	
(1)	就学前施設における読み聞かせの推奨	14
(2)	子どもの発達の段階に応じた読書活動支援	14
(3)	学校図書館の活性化支援と地域開放	15
(4)	大学図書館と県立図書館との連携強化	17
(5)	職場における読書環境の整備	17
(6)	仕事や就労に関連する読書支援	17
◆	「読書は楽しい！」の気持ちを広げます	
○	児童・生徒・学生の読書への興味・関心を高める取組	18
3	地域における読書活動の推進	
◆	あなたの「読みたい！」をサポートします	
(1)	様々なシーンで読書に親しむ活動の推進	20
(2)	市町村立図書館等の利用促進	23
◆	「読書は楽しい！」の気持ちを広げます	
(1)	読書ボランティア等への支援	24
(2)	「秋田県読書フェスタ」の開催	26
(3)	デジタルアーカイブの活用促進	26

## 4 県民協働による読書活動の推進

- ◆あなたの「読みたい！」をサポートします
    - (1) 県と市町村との協働による推進体制の強化 . . . . . 27
    - (2) 県民の寄贈によるリレー文庫の普及 . . . . . 28
    - (3) 青少年健全育成における読書活動の推進 . . . . . 28
    - (4) 高齢者への読書活動推奨 . . . . . 28
    - (5) 視覚障がい者の読書推進 . . . . . 29
    - (6) 民間企業・団体等との連携による読書活動の推進 . . . . . 29
  
  - ◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます
    - (1) 「ビブリアバトル」の普及と大会開催 . . . . . 31
    - (2) 「読書絵はがきコンクール」の開催 . . . . . 32
    - (3) 幼少期からの読書活動推進体制の強化 . . . . . 32
    - (4) 「県民読書の日」の啓発 . . . . . 32
    - (5) 読書の楽しさを伝えるために活動している県民の紹介 . . . . . 34
- 5 効果測定項目と数値目標・実績一覧 . . . . . 35

## I はじめに

読書活動は、県民が人生を豊かに生きる上で大切なものであり、文化的で豊かな社会の構築にも寄与することから、県では、「秋田県民の読書活動の推進に関する条例」（以下「条例」という。）を制定し、平成22年4月1日から施行している。

また、条例に基づき、平成23年3月に「第1次秋田県読書活動推進基本計画」（以下「第1次基本計画」という。）を、平成28年3月に「第2次秋田県読書活動推進基本計画」（以下「第2次基本計画」という。）を策定し、読書活動の推進に関する施策を総合的・計画的に進めている。

本報告は、条例第4条第2項に基づき、令和元年度に第2次基本計画により実施した施策を議会に報告するため、その概要を取りまとめたものである。

### ○ 秋田県民の読書活動の推進に関する条例【抜粋】

（県民読書活動推進基本計画）

第四条 県は、県民の読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、県民の読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「基本計画」という。）を策定するものとする。

- 2 県は、毎年、基本計画により実施した施策を議会に報告するものとする。
- 3 県は、必要があると認めるときは、基本計画を変更するものとする。

《 読書活動推進体制 》 令和2年4月1日現在

### ●秋田県読書活動推進基本計画の進行管理

秋田県読書活動推進本部 《知事を本部長とし、各部局長で構成》

### ●施策の一体的推進

秋田県読書活動推進連絡会  
《庁内関係12課所で構成》

総合政策課	長寿社会課	障害福祉課
次世代・女性活躍支援課		
教育庁総務課	幼保推進課	義務教育課
高校教育課	特別支援教育課	生涯学習課
県立図書館	生涯学習センター	

### ●市町村との協働による推進

秋田県読書活動推進連絡協議会  
《県と25市町村で構成》

市町村企画担当課
市町村教育委員会読書活動推進担当課
県企画振興部総合政策課
県教育庁総務課
県教育庁生涯学習課

### ◎事務局

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

秋田県読書活動推進本部（秋田県企画振興部総合政策課県民読書推進班）

TEL：018-860-1216

FAX：018-860-3873

E-mail：seisaku@pref.akita.lg.jp

\*公式ウェブページ「あきたブックネット」<http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/31730>

## Ⅱ 第2次基本計画の概要と施策推進状況

### 第2次基本計画のねらい 生活の場に根付いた読書活動の推進

#### 第2次基本計画の施策体系の4つの柱

- 1 家庭における読書活動の推進
- 2 学校・職場における読書活動の推進
- 3 地域における読書活動の推進
- 4 県民協働による読書活動の推進

#### 県民運動推進の視点

- ・あなたの「読みたい！」をサポートします
- ・「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

#### 目標(R2)

- 「本を読むのが好きだ」、「読書習慣がある」と答える県民の割合が80%以上
- 週3時間以上(1日30分以上)読書をしている人の割合が70%以上

県では、条例に基づき、第1次基本計画（平成23年度～27年度）により、県民の読書活動の推進に取り組み、「県民読書の日」の制定や県民参加の読書活動を展開した。また、市町村立図書館や公民館図書室、学校図書館を拠点とする地域の読書環境の充実に努めたほか、全市町村で「子ども読書活動推進計画」を策定するなどの成果を上げてきた。

第2次基本計画（平成28年度～令和2年度）では、「家庭」、「学校」、「職場」、「地域」という県民の生活の場に応じて、県民の共感を高めながら施策を展開するとともに、市町村、企業、民間団体等と連携・協力し、県民総ぐるみの読書活動を一層盛り上げていくこととしている。

県民が、いつでも、どこでも、だれでも、本に親しむことができる環境の中で、読書でコミュニケーションや仲間づくりを広げ、これからの地方創生を支える人づくりにつなげることにより、県民や民間団体等による『高質な田舎』を実現し、「日本一の読書県」を目指していく。

### 令和元年度施策推進状況

#### 1 家庭における読書活動の推進

家族で読書を楽しみ、読書習慣の形成と家族間のコミュニケーションを図るため、「家族で読書おすすすめ50選vol.2」のパンフレットを全小学校1年生に配布した。

また、読み聞かせお薦め絵本として選定した「あふれちゃんのえほんばこ」など県内外の読書に関する新しい情報や各種サービス・イベント等の情報を県のホームページやSNSを活用して随時提供した。

県立図書館では、子どもの読書を推進するため、子ども向け資料の充実を図るとともに、読書に関する相談活動・おはなし会を実施した。

また、中・高校生や高齢者の図書館利用を促進するため、「teens'コーナー」や「シニアコーナー」の資料を整備するとともに、多様な読書ニーズに対応できるよう、資料収集の方針に沿った選定を計画的に実施したほか、金融に関するセミナーを実施するなど生活課題解決のための情報提供を

積極的に行い、図書館の利便性向上と利用促進に努めた。

## 2 学校・職場における読書活動の推進

就学前施設における読み聞かせを推奨するため、保育者や新規採用者を対象とした研修会を実施した。

小・中・高等学校及び特別支援学校においては、子どもたちの発達段階に応じた読書活動をサポートする情報提供を行ったほか、校舎内の身近な場所に図書コーナーを設置するなどにより、読書意欲の喚起や読書環境の充実に努めた。

また、教育庁の専門職員が、小・中・高等学校を訪問し、学校図書館の環境整備や活用状況について把握するとともに、先進事例の紹介や改善のための助言を行った。

県立図書館では、高等学校・特別支援学校の図書館担当者からのリクエストを受けて、図書セット資料の更新を行い、児童生徒の読書環境の整備を支援したほか、県立図書館と相互協力協定を締結している大学図書館との間で、各館の所蔵資料を利用者が活用できるよう、相互貸借を推進した。

また、小・中・高等学校のセカンドスクールの利用による図書館職場体験や、大学生のインターンシップ受入の際に、校種別に合わせた体験内容を提供し、読書に対する関心や、図書館の仕事・役割について理解が深まったという声が数多く寄せられている。

## 3 地域における読書活動の推進

若者を中心とした県民の読書意欲を喚起するため、県民の注目度が高い県内のトップアスリート等による読書啓発動画を制作し、動画配信サイトYouTubeで配信した。

また、「秋田県花いっぱい運動の会」や「子育て応援団実行委員会」など、様々な県民運動と連携したイベントを実施したほか、4月23日の「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」における取組の周知に努めた。

市町村立図書館等の利用促進に向けて、県立図書館や県子ども読書支援センターの資料の市町村立図書館等への貸出しや、職員等を対象とした研修会などを行った。

また、市町村立図書館や学校・保育園等において、読み聞かせ・朗読等を行う読書ボランティアを新規に養成するための講座を実施するとともに、ボランティアのスキル向上とネットワーク構築を図るための交流会を実施した。

さらに、10月19日(土)～11月4日(月)に秋田県読書フェスタを開催し、中学生・高校生ビブリオバトル全県大会等の県主催事業のほか、市町村の図書館・公民館等で、おはなし会や講演会等の読書イベントを集中的に開催し、地域における読書活動推進の気運を高めた。

## 4 県民協働による読書活動の推進

平成28年5月に設置した「秋田県読書活動推進連絡協議会」において、県民の読書環境の充実にに向けた意見交換や優良事例の共有を行ったほか、県と市町村が協働で、「読書活動推進パートナー支援事業」に取り組んだ。

また、県民からの寄贈による「読んだッチ・リレー文庫」を保育所や医療機関などに配布し、子どもたちの身近な場所での読書環境づくりを推進したほか、秋田県青少年の健全育成と環境浄化に関

する条例に基づき推奨する優良図書を県民に周知し、青少年健全育成における読書活動を推進した。

秋田県点字図書館においては、ボランティアの協力により、点字図書や音声図書等の製作を行い、視覚障がい者の読書機会の充実に努めた。

また、企業が雑誌のスポンサーとなって県立図書館等へ雑誌を提供することにより、雑誌コーナーの充実が図られたほか、書店団体等と連携したイベントなどを実施し、県民の読書活動を推進した。

11月1日の「県民読書の日」の啓発事業として実施した「ふるさとの文学と読書のつどい2019」では、秋田をテーマとして募集した「ふるさと秋田文学賞」の表彰式や、押尾川親方と元祖爆笑王氏によるトークライブを行い、県民の読書活動への関心を高めた。

生涯学習センターでは、絵本の読み聞かせや人形劇に取り組むボランティアや、郷土にゆかりのある作家の研究会などを取材して、<sup>こどうびと</sup>行動人ウェブサイトで紹介し、読書推進に主体的に取り組む県民の活動を支援した。

また、平成29年6月に「企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)」対象事業に認定された「読書活動推進パートナー支援事業」と「読書が広がるホップ・ステップ・ジャンプ事業」は、平成29年度から令和元年度までの3年間実施した。

令和元年度の「読書活動推進パートナー支援事業」の実施概要は5～7ページに、「読書が広がるホップ・ステップ・ジャンプ事業」の実施概要は8ページに記載のとおりである。

# 令和元年度「読書活動推進パートナー支援事業」について



## ○事業概要

県では、「日本一の読書県」を目指して、県民が身近な所で読書に親しむことができる環境づくりを進めるため、企業や団体、市町村との連携により、平成29年度から令和元年度までの3年間、「読書活動推進パートナー支援事業」を実施した。


## ○取組内容

企業や団体の施設内や地域のコミュニティスペースなどに図書コーナー等を設置した市町村に対し、図書や本棚の購入費などの初期費用を助成した。

### R元取組状況（10市町村16施設に設置）

	市町村名	設置施設	整備内容	利用状況等
1	能代市	①サイエンスパーク・能代市子ども館 ②ゆっちゃん(高齢者ふれあい交流施設) 	・図書 75冊 ・書棚 1個等	多くの市民が訪れる（①は年間4万人超、②は5万人超）施設内の休憩スペース近くに図書コーナーを設置した。 ①には親子や子育て中の保護者が、②には高齢者が手に取りやすい図書を選んで設置したところ、施設利用者が本を手に取り、気軽に読書を楽しんでいる。  今後は、図書館移動文庫の配本先として、定期的な本の入替を行っていく。
2	大館市	○キッズテラス アット セイジュ (企業主導型保育施設) 	・図書 115冊 ・書棚 3個	パートナー企業は、地域の子どもも受け入れているほか、地域の人々や敷地内の老健施設利用者にも多目的ホールを開放している。 このホールに本を配置したことにより、園児やその保護者・兄弟姉妹が本に接する機会が増えたほか、本を中心とした来園者同士の相互交流が活発になった。  貸出も行い、定期的な本の入替を行っていく。
3	男鹿市	○男鹿市総合体育館 	・図書 112冊 ・書棚 2台	市民の体力づくりや部活動等のほか、全県・全国大会でも多く利用されている体育館の1階と2階の出入口付近に図書コーナーを設置した。 児童書は短い時間でも楽しめる本を、一般書は人気の時代小説等を設置したところ、貸出の要望も多い。  図書館から離れている地域住民にも楽しんでもらえる場所になるよう、定期的な本の入替を行っていく。



	市町村名	設置施設	整備内容	利用状況等
4	湯沢市	①あんみつ姫（就労継続支援施設B型） ②雄勝中央病院 	・図書 87冊 ・書棚 1個等	①来客者は高齢者が多いことから、写真集や図鑑などの読みやすい図書を面展示したところ、本を読みながらゆっくり過ごす人や、本を手にする施設利用者が増えた。 ②手に取りやすい内容の一般書籍、児童書（図鑑）等を配置したところ、健診や会計、バスの待ち時間等に、本を手にする人が多く見受けられるようになった。
5	潟上市	○天王温泉くらら 	・図書 114冊等	本施設は、道の駅に隣接し、年間延べ24万人に利用されている。 2階にあった本棚を1階ロビーに移動させ、旅行や健康、園芸、秋田に関する本など、手に取りやすい本を設置した。 ロビーで休憩したり待ち合わせをしている来館者が、読書を楽しんでいる。 また、家族が乳幼児に絵本を読み聞かせている場面も見受けられる。
6	にかほ市	①小出診療所 ②院内診療所 	・図書 68冊 ・書棚 2台	両診療所では、診察のほか健康教室も開催している。子どもからお年寄りまで、待ち時間に読書に親しんでいるほか、コミュニケーションツールにもなっている。 職員にも好評なため、今後、リクエスト等情報を共有し、選書連携をしていく。 市内各機関・団体等に図書館資料による「施設内文庫」を設置し、図書館の新規利用のきっかけにつなげていく。
7	仙北市	①角館温泉花葉館 ②市民浴場東風の湯 ③西木温泉ふれあいプラザ クリオン 	・図書 71冊 ・書棚 2台	①角館の歴史や温泉療養、グラウンドゴルフに関する本を選定し、図書館から離れている地域住民にも楽しんでもらえる場所にする。 ②温泉療養や田沢湖の温泉、登山、郷土秋田に関する本を選書し、近くの図書館利用のきっかけにつなげていく。 ③温泉療養や健康増進、水泳、郷土秋田に関する本を選書し、近くの公民館図書室利用のきっかけにつなげていく。

	市町村名	設置施設	整備内容	利用状況等
8	上小阿仁村	○コアニティー (上小阿仁村集住型宿泊交流拠点施設) 	・図書 87冊 ・書棚 1台	<p>宿泊滞在・交流・集合住宅機能がある本施設には、レジデンスアーティストなど、多種多様な人々が県内外から訪れている。</p> <p>放課後児童クラブや自動運転サービスの停留所でもあり、住民の利用も多い。</p> <p>村PRキャラクターを起用した和英表記パネルや、IPテレビ電話での周知も効果的で、利用者は手軽に本を手にとり読書を楽しんでいる。</p>
9	三種町	○砂丘温泉ゆめろん 	・図書 81冊 ・書棚 2台等	<p>本施設は、県内外から合宿で利用する学生等も多い大規模温泉施設で、高齢者交流施設が併設されている。</p> <p>町出身著名人や利用者ニーズを捉えた本を「ぼかぼか図書コーナー」として設置し、子ども向けの本は面出ししているが、待ち合わせ時間などに読書を楽しんでいる。</p> <p>公民館図書室と連携した事業等を企画し、図書室の利用者増にもつなげていく。</p>
10	八郎潟町	①はちらぼHOUSE (まちづくり活動センター) ②手作り工房おおみち  	・図書 79冊 ・書棚 3台	<p>①アンケートで人気のあった本を、2階の多目的スペースに設置した。買い物やイベントなどで訪れた人が、気軽に本に親しんでいる。</p> <p>②ハンドメイドの物や地物野菜も販売する工房に、主に手芸関係の本を揃えた。地域の交流の場にもなっている。</p> <p>住民からの寄贈受入れなどにより本と親しむ環境を充実させ、地域との「協働」の下、本を通じた絆づくりを目指す。</p>
10市町村		16施設	図書計889冊	

## 令和元年度「読書が広がるホップ・ステップ・ジャンプ事業」について

### ○事業概要

県教育委員会では、読書に親しむ多様な機会の提供や、読書の楽しさを発信できる人材の育成等を通じて、県民の読書習慣の一層の向上に向けた取組を推進するため、出版関係企業や団体等との連携により、平成29年度から令和元年度まで「読書が広がるホップ・ステップ・ジャンプ事業」を実施している。

### ○取組内容

読書に親しむ段階を、ホップ（読書との出会い）・ステップ（読み聞かせをして本の楽しさを伝える）・ジャンプ（読書の価値や意味を発信する）の三つに分け、それぞれの段階に応じた取組を行った。

#### I ホップ ～様々な読書の楽しみ方の提案・啓発～

- ①超大型絵本のおはなし会・絵本作家のおはなし会  
4会場 参加者数404名
- ②調べ学習講座  
小学生や教員等を対象とした百科事典の使い方講座  
3会場 参加者数102名
- ③作家による読書講座 3回開催 参加者数211名
- ④県立図書館120周年記念講演会 参加者数200名



▲調べ学習講座

#### II ステップ ～読書の楽しさを伝える人材の育成～

- ①読み聞かせボランティア養成講座  
3会場 参加者数128名 ※詳細は25ページに掲載
- ②全県読み聞かせボランティア交流会  
参加者数54名 ※詳細は25ページに掲載
- ③POP作り研修講座  
高校生や教員等を対象としたお薦め本POPの作り方講座  
2回開催 参加者数71名



▲ビブリオバトル全県大会

#### III ジャンプ ～読書の喜びを発信～

- ①ビブリオバトル
  - ・地区大会 7会場  
出場者数90名（中学生50名 高校生40名） 実行委員（高校生）50名
  - ・全県大会  
出場者数13名（中学生7名 高校生6名） ※詳細は31ページに掲載
- ②ビブリオツアー  
出版社訪問や作家との懇談、ビブリオバトル全国大会の見学
- ③SNSによる読書情報の発信  
高校生のお薦め本を秋田県公式Twitter「あきたブックネット」 (@akita\_dokusho) で紹介した。（24冊）

### ○その他

秋田県書店商業組合等との連携により、おはなし会やビブリオバトル等の会場で、関連図書や絵本の販売が行われた。また、教職員や図書館職員等を対象とした「児童図書・優良図書展示会」が県内3会場で開催され、広報や後援による協力を行った。

### Ⅲ 読書活動推進施策

#### 1 家庭における読書活動の推進

##### ◆あなたの「読みたい！」をサポートします

##### (1) 「家族で読書」運動の提唱と普及

家族で読書を楽しみ、読書習慣の形成と家族間のコミュニケーションを図るため、全小学校の1年生を対象に、「家族で読書おすすめ50選vol.2」のパンフレットを、入学時に合わせて配布した。



◀ 「家族で読書おすすめ50選vol.2」パンフレット

○配布部数

全小学1年生と小学校 7,718部(191校)

パンフレットでは、「子どもに絵本を読み聞かせる時間は、大人にとっても読書を楽しむ時間です」と語りかけている。

##### ❖参考DATA

週3時間以上(または1日30分以上)読書をする人の割合

: (R1) 43.8%

##### (2) 子どもの読書推進

##### ①子ども向け資料の充実

県立図書館の「えほんのへや」「調べ学習コーナー」の資料の計画的な整備を図り、様々なテーマでの月替わりの絵本展示のほか、こどもの読書週間(4/23~5/12)や夏休み期間に合わせた児童書の展示等を実施し、子どもの図書館利用を促進した。

##### ❖参考DATA

県立図書館における0~12歳の年間新規登録者数: (R1) 463人

##### ②子どもの読書に関する相談活動、おはなし会等の充実

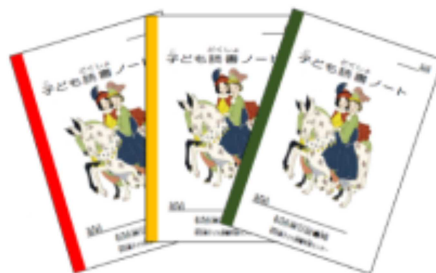
「えほんのへや」で、県子ども読書支援センターの子ども読書アドバイザー等による読書に関する相談活動を年間66日実施し、332件の相談が寄せられた。おはなし会は、23回実施し、663人が参加した。

また、県子ども読書支援センター支援員(読書ボランティア)が作成した年齢別・テーマ別のお薦め本リストを提供するなど、子どもの年齢や興味・関心に応

じた読書ができるよう支援し、様々な本に接する機会を増やしたほか、幼少期から読書習慣が身に付くよう、「子ども読書ノート」の作成と配布を行った。



▲夏のおはなし会の様子



▲子ども読書ノート

### ③医療・保健分野との連携による子どもの読書習慣づくり

子育て支援の視点で市町村立図書館等を紹介するリーフレット「絵本であそぼ！－8地域版－(H29作成)」について、ウェブサイトで紹介し、幼少期からの読書習慣の大切さと図書館利用を呼びかけた。

### (3) 中・高校生の読書推進

県立図書館の「teens'コーナー」の資料を整備し、進路・趣味・部活・心や体など、ティーンズ世代の悩み解決に役立つ本や、ティーンズ向けの絵本、雑誌のほか、一般向けの資料からティーンズにお薦めしたいものを選びコーナーを設置するなどして、中・高校生の図書館利用を促進した。



▲teens'コーナー

#### ❖参考DATA

県立図書館における13～18歳の年間新規登録者数：(R1) 155人

### (4) 高齢者の読書推進

#### ①高齢者向け資料の整備、シニアコーナーの充実

県立図書館の「シニアコーナー」に趣味や生きがいに関する資料を整備し、多様なジャンルの大活字本を収集・提供して、高齢者の図書館利用を促進した。

シニアコーナー▶



#### ❖参考DATA

県立図書館における60歳以上の年間新規登録者数：(R1) 275人

## ②高齢者などへの読書支援

視力が低下した高齢者や障がい者のためのボランティアによる朗読サービス（電話、対面、録音データの送付）や、障がい者と健常者が一緒に参加できる朗読会等の情報について、出前講座やSNS等で周知を図った。

また、インターネット環境がない高齢者などであっても「ふるさと秋田文学賞」の受賞作品を読むことができるように、作品本文のみのコピー郵送サービス（送料は本人負担）を行い、21件の利用があった。

### ❖参考DATA

電話（対面）朗読ボランティア活用者実数：（R1）22人

※秋田市立図書館では、次の朗読ボランティアグループが電話（対面）朗読サービスを行っている。利用者が固定化する傾向があるため、リーフレット等で高齢者等に呼びかけるなどの取組をしている。

- ・レモンの会（明德館）（R1）電話朗読 111件

※電話朗読のほか、録音したCDやUSBメモリを送付するサービスも行っている。

- ・かもめ（土崎図書館）（R1）電話朗読 122件  
対面朗読 21件

※朗読ボランティア「はまなす」による朗読会を1回行った。

## （5）図書館の利便性向上と利用促進

### ①県立図書館の資料の整備と充実

多様な読書ニーズに対応できるよう、資料収集方針に沿った選定を計画的に実施した。また、複数の専門的な外部機関や県立図書館雑誌スポンサーから資料選定について協力を得て、所蔵資料の充実を図った。

### ❖参考DATA

県立図書館における年間購入冊数：（R1）14,063冊

### ②生活課題解決のための読書や図書館利用の促進

県立図書館における健康や介護、子育てなど、生活上の課題解決のための資料整備や、がん情報に関しては専用コーナーを設置し、関連パンフレット、セミナー等の情報提供等を行い、コーナーの充実を図った。また金融に関するセミナーを実施するなど生活課題解決のための情報提供を積極的に行った。さらに、県内の市町村立図書館等に対し、他館で実施されている課題解決支援サ

サービスについての情報提供やコーナー設置の助言等を行った。



▲生活支援コーナー・  
健康情報コーナー



▲金融セミナーの様子

❖参考DATA

「課題解決支援サービスを知っている」と答える利用者の割合《隔年調査》  
：(R1) 66.9%

「課題解決支援サービスに満足している」と答える利用者の割合《隔年調査》  
：(R1) 67.9%

市町村立図書館等のサービス実施館数：(R1) 56館

### ③県民の読書ニーズに対応できるサービス機能の強化

多様なニーズに対応できるよう、県立図書館の参考図書や商用データベースの整備のほか、職員の資質向上のための研修を実施することにより、レファレンス・サービス\*機能を強化した。

※レファレンス・サービス

資料・情報を求める利用者に対して図書館が行う文献の紹介・提供などの援助のこと。

❖参考DATA

「レファレンス・サービスを知っている」と答える利用者の割合《隔年調査》  
：(R1) 53.1%

「レファレンス・サービスに満足している」と答える利用者の割合《隔年調査》  
：(R1) 84.0%

## ◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

### (1) 読み聞かせお薦め絵本の紹介

親と子どもが心のふれあいを深め、子どもの健やかな成長を図るため、0歳か

ら小学校低学年までを対象とした読み聞かせにお薦めの絵本「あふれちゃんの



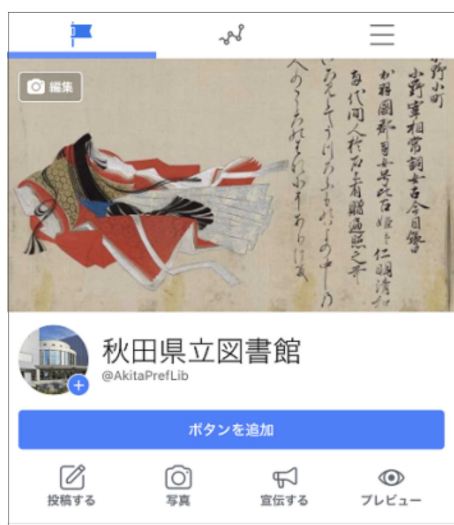
えほんばこ」53冊を選定し、リーフレットや毎週日曜日の秋田魁新報読書欄のほか、あきたの結婚・子育て応援情報ウェブサイト「いっしょにねっど。」及び県公式Twitterアカウント「あきたブックネット」で紹介した。

◀県児童会館2F図書室にある絵本コーナーで絵本を読んでもらう子どもたち

## (2) ホームページやブログ等を活用した情報発信

県立図書館のサービスやイベント等の情報を、ホームページやFacebookページを活用して定期的に発信し、図書館の利用促進を図った。

また、県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」内の特設ページ「あきたブックネット」で施策やイベント等の情報を発信したほか、Twitter「あきたブックネット」では県内外の読書に関する新しい情報を随時提供した。



▲県立図書館Facebookページ  
館内の様々な案内やイベントの様子を毎日発信している。



▲Twitter「あきたブックネット」  
県内の書店や図書館と相互フォローし、県内外の読書に関する新しい情報を随時発信している。

### ❖参考DATA《アクセス数(R1)》

県立図書館ホームページ	235,195件
Twitter「あきたブックネット」	1,510,644件



## 2 学校・職場における読書活動の推進

### ◆あなたの「読みたい！」をサポートします

#### (1) 就学前施設における読み聞かせの推奨

幼稚園・保育所・認定こども園等の訪問時や乳幼児研修会において、教材としての「絵本」の意義や、子どもが喜んで「絵本」に関わるための環境構成について、適宜指導・助言や講義を行った。

また、新規採用者に対しては、「豊かな心を育む絵本の読み聞かせ」と題して、読書及び読み聞かせに関する研修を実施した。



#### ◀新規採用者研修の様子

##### ○開催状況

令和元年11月20日(水)

於 秋田県総合教育センター

##### ○講師

田丸 美穂氏 (県子ども読書支援センター  
子ども読書アドバイザー)

##### ○参加者数

162名

#### ❖参考DATA

受講者の肯定的評価の割合：(R1) 100.0%

#### (2) 子どもの発達の段階に応じた読書活動支援

##### ①小・中学校における取組

各学校の児童生徒の読書推進につながるよう、ボランティアによる読み聞かせやビブリオバトル、書籍の紹介、学級文庫の活用等、児童生徒の発達の段階に応じた読書活動支援に関わる先進的な取組について、学校訪問の機会に情報提供を行った。

また、学校図書館・公立図書館・ボランティア等のネットワーク化による読書環境の充実についての情報を提供し、読書活動を支援した。

#### ❖参考DATA

「読書が好き」と答える児童生徒の割合：(R1) 49.3%

##### ②高等学校における取組

読書への意識啓発と図書委員会\*の主体的な活動の充実を図るとともに、家庭科の学習やボランティア活動等において、絵本の読み聞かせ等の実習を奨

励し、将来、親になったときに子どもに読み聞かせをすることの意義について理解を深めた。

図書館活性化モデル校の先進的な取組について、協議会等で情報共有を図るとともに、学校訪問の機会に情報提供を行った。

#### ※図書委員会

生徒会活動の一つで、学校図書館に関する活動を行う委員会。

### ③特別支援学校における取組

学校訪問や会議の機会に、読書環境の重要性について情報提供し、更なる取組の実施を働きかけた。

各校では、校舎の様々な場所を活用して幼児児童生徒の身近な場所に図書コーナーを設置し、手に取りやすく、興味・関心を高める工夫をするなど、環境の充実を図った。また、県立図書館等のセット貸出しを積極的に利用して、より多くの選択肢の中から本を選ぶことができるようにした。地域ボランティアの活用や委員会活動等での読み聞かせ活動を通して、読書に親しむ機会を積極的に取り入れている。

#### ❖参考DATA

校内の読書環境の整備と改善に定期的に取り組んでいる特別支援学校の割合  
: (R1) 100.0%

## (3) 学校図書館の活性化支援と地域開放

### ①情報提供や貸出しによる支援

小・中・高等学校36校を訪問し、学校図書館の環境整備や活用状況について把握するとともに、先進事例の紹介や改善のための助言を行った。

県立図書館の貸出しによる支援では、高等学校・特別支援学校の図書館担当者からのリクエストを受けて、図書セット資料の更新を行い、児童生徒の読書環境を整備した。

#### ○平成31年度文部科学大臣表彰

##### 【子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体】

- ・横手市立横手北小学校、鹿角市立八幡平中学校、  
秋田県立秋田南高等学校・秋田県立秋田南高等学校中等部
- ・仙北市立田沢湖図書館
- ・八峰町おはなしの会「かもめ」

#### ❖参考DATA

訪問により先進事例の紹介や助言を行った学校数 : (R1) 36校

### ▼学校図書館の取組の様子▼



#### ❖参考DATA

県立図書館から学校図書館への年間貸出冊数：(R1) 18,169冊

県立図書館の学校向け図書の年間購入冊数：(R1) 2,202冊

### ②県立学校図書館職員等への研修機会の提供

県立学校の図書館関係職員や高等学校の図書委員会生徒を対象として、能力の向上や相互交流の活性化を図るため、図書館運営やサービスに関する具体的な技術についての研修会を実施した。



▲第1回研修会の様子

#### ◀学校図書館職員等研修会の様子

##### ○開催状況

【第1回】 令和元年8月2日(金)

内容 作家による読書講座

(探検家・作家 高橋大輔氏講演会)

参加者数 教職員・生徒合計53名

【第2回】 令和2年1月8日(水)

内容 「手書きPOP作り研修講座」

参加者数 教職員・生徒合計32名

#### ❖参考DATA

「研修に満足した」と答える参加者の割合：(R1) 97.4%

### ③地域開放に向けた取組

保護者や地域の人々の協力による学校図書館の環境整備や図書室だより等による家庭や地域への学校図書館の活動に関する周知など、学校図書館に関わる活動をきっかけとした学校と地域との連携につながる取組について情報提供を行った。

❖参考DATA

「週1回以上学校図書館等に行く」と答える児童生徒の割合  
：(R1) 15.8%

#### (4) 大学図書館と県立図書館との連携強化

県立図書館と相互協力協定を締結している大学図書館(秋田大学、秋田県立大学、国際教養大学)との間で、各館の所蔵資料を利用者が活用できるよう、相互貸借を推進した。

❖参考DATA

県立図書館と大学図書館との相互貸借における  
年間貸出冊数：(R1) 303冊  
年間借受冊数：(R1) 52冊

#### (5) 職場における読書環境の整備

##### ①企業内文庫の設置

企業を対象とした出前講座において、県内企業の取組を先進事例として紹介、企業内文庫の普及に努めた。

また、読書活動推進パートナー支援事業を利用して設置された図書コーナーは、設置施設の従業員や関係者等にも利用されており、職場における読書環境の整備につながっている。(5～7ページ参照)

##### ②女性の活躍を応援する読書活動の推進

出前講座等の機会のほか、Twitter「あきたブックネット」を活用し、通院や買い物の折に本に親しむことができるように読書活動推進パートナー支援事業で設置した図書コーナーの周知を図ったり、女性に人気のある本を紹介したりするなどにより、読書意欲の向上を図った。

❖参考DATA 《R1 県民意識調査》

「1日平均30分以上読書をしている」と答えた人の割合  
30歳代：35.0%  
40歳代：37.2%

「1日平均30分以上読書をしている」と答える女性の割合 43.1%

#### (6) 仕事や就労に関連する読書支援

仕事上の課題解決や就労のための資格取得等を支援するため、県立図書館において、ビジネスセミナーを開催したり、資料の整備や関係機関のパンフレ

ットの提供等により「ビジネス支援コーナー」の充実を図った。

また、県内の市町村立図書館等に、ビジネス支援サービスについての情報提供やコーナー設置の助言等を行った。

ビジネス支援コーナー ▶



❖参考DATA

「ビジネス支援サービスを知っている」と答える利用者の割合《隔年調査》  
: (R1) 64.1%

「ビジネス支援サービスに満足している」と答える利用者の割合《隔年調査》  
: (R1) 60.0%

市町村立図書館等のビジネス支援サービス実施館数 : (R1) 20館

◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

○ 児童・生徒・学生の読書への興味・関心を高める取組

①小・中学生が主体的に読書ができるような授業づくりの紹介

児童生徒が図書資料を活用することにつながる授業実践や読書活動等での教科書教材と関連した図書の推奨など、各学校で読書への興味・関心を高める教育活動について情報提供を行った。

②高校生の主体的な読書活動の充実

社会に出てからも読書時間を確保し、生涯にわたって読書に関心を持つことができるよう、学校間での先進事例の共有化を図った。

また、ビブリオバトルへの積極的な参加を促すとともに、地区大会では高校生による実行委員が企画・運営に加わることで、主体的に読書活動に取り組み、仲間づくりやコミュニケーション力の向上につながる機会を提供した。

○開催状況

<地区大会>

- ・北鹿大会 令和元年10月12日(土) 大館市立栗盛記念図書館  
中学生3名、高校生6名参加/実行委員10名
- ・能代大会 令和元年10月19日(土) 能代市立能代図書館  
中学生7名、高校生9名参加/実行委員12名
- ・秋田大会 令和元年10月26日(土) ふれあーるAKITA  
中学生7名、高校生8名参加/実行委員7名
- ・由利本荘大会 令和元年10月12日(土) 由利本荘市文化交流館カダーレ

- 中学生 4名、高校生 4名参加／実行委員 6名
  - ・大仙大会 令和元年10月19日（土） 大仙市大曲交流センター  
中学生 9名、高校生 4名参加／実行委員 3名
  - ・横手大会 令和元年10月26日（土） サンサン横手  
中学生 11名参加／実行委員 2名
  - ・湯沢大会 令和元年10月20日（日） 湯沢市役所  
中学生 9名、高校生 9名参加／実行委員 10名
- <全県大会>
- 令和元年12月8日（日） 秋田拠点センターアルヴェ  
地区大会を勝ち抜いた13名（中学生7名、高校生6名）が参加
- ※開催内容の詳細については、31ページを参照

❖参考DATA

1か月1回以上学校図書館等を利用する高校生の割合：(R1) 23.1%

1か月に本を1冊以上読む高校生の割合：(R1) 61.3%

### ③特別支援学校における読書活動の充実

学校訪問や会議の機会に、読書環境の重要性について情報提供し、更なる取組の実施を働きかけた。各校では、全校読書タイムを設けたり、保護者や地域ボランティアによる読み聞かせを取り入れたりすることで、本に親しむことができる機会を数多く設けた。読書量を視覚化する掲示等により、読書活動への意欲付けを図る取組も行われている。



◀児童生徒が集まった「全校読書タイム」

❖参考DATA

特別支援学校において様々な読書活動に関わり、本に親しんだ幼児・児童・生徒の割合：(R1) 100.0%

### ④図書館における読書への興味・関心を高める取組

県立図書館において、小・中・高等学校のセカンドスクール\*的利用(22校・153人)や、大学生のインターンシップを受け入れ、校種別に合わせた体験内容を提供することにより、図書館の仕事や役割について理解を深めるとともに、読書に対する関心を高める取組を行った。なお、利用した生徒へのアンケートでは、図書館の仕事や役割について理解し、職業について考えるきっかけとなったという声が数多く寄せられた。

### ※セカンドスクール

児童生徒が学校を離れた場所で、様々な自然体験や社会体験を行う授業。  
図書館においては図書館職員の体験を行う。

#### ❖参考DATA

「セカンドスクールの利用等に満足した」と答える児童・生徒・学生の割合  
：(R1) 90.2%  
「図書館の仕事・役割を理解した」と答える児童・生徒・学生の割合  
：(R1) 100.0%



▲セカンドスクールにおける施設見学・職場体験の様子▲

## 3 地域における読書活動の推進

### ◆あなたの「読みたい！」をサポートします

#### (1) 様々なシーンで読書に親しむ活動の推進

##### ① プロスポーツチーム等との連携による読書活動の推進

若者を中心とした県民の読書意欲を喚起するため、県民の注目度が高い県内のトップアスリート等による読書啓発動画を制作し、動画配信サイトYouTubeで配信した。

#### <SPORTS&BOOKS>

トップアスリートによる「今読んでいる一冊」の紹介動画

北都銀行バドミントン部 永原和可那選手、松本麻佑選手

#### <お笑い&BOOKS>

県出身芸人「ねじ」による読書推進動画

「五社堂の鬼の話」

「世界の偉人の名言」



## ②様々な県民運動との連携による読書活動の推進

「ふるさとの文学と読書のつどい2019」において、「秋田県花いっぱい運動の会」から、「花で読書を応援する」として、県産花を中心としたステージ花やトークライブ用の卓上アレンジメントの提供を受け、好評を博した。

また、「子育て応援団実行委員会」(ABS秋田放送・県・秋田市ほか)が主催する「すこやかあきた2019」に、秋田県読書活動推進本部(総合政策課・県立図書館)として参加し、来場者を対象とした絵本ブースを出展した。



▲▲  
県産花を中心としたステージ花と  
卓上アレンジメント



▲「すこやかあきた2019」 出展ブース

❖参考DATA (「ふるさとの文学と読書のつどい」参加者アンケート)  
「満足した」と答える参加者の割合:(R1) 92.8%

## ③県児童会館での子どもの読書活動の推進

県子ども読書支援センター\*が、県児童会館図書室に対し、子ども向けの図書の貸出しや、図書室の運営についての支援を行い、子どもが本に触れ、読書の楽しさを体験する機会を増やした。

※県子ども読書支援センター

子どもの読書活動に関する広報、啓発、調査研究活動や各種イベントの開催を行うことを目的に県立図書館内に設置されている。同支援センタースタッフが「え



ほんのへや」で子どもの読書に関する相談を受け付けるほか、県内の読書ボランティア団体や学校図書館、保育園、幼稚園を対象に読み聞かせ資料の貸出し等もを行っている。

令和元年度からは「子ども読書ノート」の配布等の活動を始め、幼少期から読書習慣が子どもに根付くよう、活動した。

#### ❖参考DATA

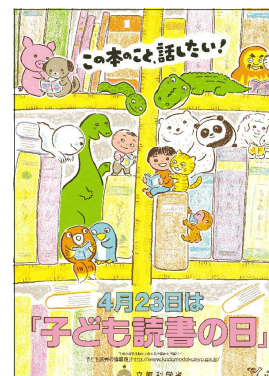
県子ども読書支援センターから県児童会館図書室への資料貸出冊数

: (R1) 593冊

#### ④「子ども読書の日」の周知と取組奨励

「子ども読書の日」啓発ポスターを幼稚園や学校、社会教育施設等に配布し周知を図るとともに、「こどもの読書週間」における市町村の読書関係事業の取組(全県176イベント)の情報を文部科学省のサイト「子ども読書の情報館」へ提供した。

2019年度「子ども読書の日」ポスター▶



##### ○子ども読書の日

「子どもの読書活動の推進に関する法律」で4月23日が「子ども読書の日」と定められている。

これは、シェイクスピア(英国)とセルバンテス(スペイン)の命日である4月23日をユネスコが「世界・本と著作権の日」と宣言していることにちなむ。

##### ○サン・ジョルディの日

日本では出版関係団体が、4月23日を親しい人に本を贈る「サン・ジョルディの日」として呼びかけている。

(サン・ジョルディはスペインの守護聖人名。カタルーニャ地方では命日に本の市が立ち、花と共に本を贈り合う習慣がある。)

#### ⑤生涯学習としての読書活動の奨励

県民の総合的な生涯学習講座「あきたスマートカレッジ」の中で、「県民読書おすすめ講座～比較文化～」(全6回)及び「特別企画講座文学をひも解く～北条常久特別講座～」(全3回)を開催したほか、講座受講者が中心となって一昨年発足した自主学習グループが、合わせて15回の自主企画講座を開催した。

また、各市町村の要望に応じて生涯学習手帳を配布し、その活用を促すとともに、学習単位の認定と称号の授与を行った。



▲「県民読書おすすめ講座」の様子



▲秋田文学愛好会「公開講座」の様子

❖参考DATA

講座や読書活動で生涯学習手帳を活用している市町村の割合  
: (R1) 100.0%

生涯学習手帳の活用について

○学習単位の認定

- 1 単位：①県や市町村、大学、関連団体、企業等が主催する事業や講座の受講  
90分
- ②個別学習（放送大学1講座、読書1冊、博物館・美術館等の見学）
- ③奨励活動（講座の指導者、ボランティア活動等）

○称号の授与

- ☆わか杉・マナビスト 50単位修得・・・高校生以下が対象
- ☆ブロンズ・マナビスト 100単位修得
- ☆シルバー・マナビスト 300単位修得
- ☆ゴールド・マナビスト 500単位修得
- ☆プラチナ・マナビスト 1,000単位修得+論文提出  
または、2,000単位修得

**（2）市町村立図書館等の利用促進**

**①地域の人材や資料等の特徴を生かした利用促進**

県や市町村の読書推進担当者が集まる会議等において、「子ども読書活動推進計画」の策定状況に関する情報提供や改定の呼びかけ、県教委の取組に関する情報提供を行った。

また、学校図書館を訪問し、先進的な取組事例等に関する情報提供を行った。

**②県立図書館の支援による利用促進**

県立図書館や県子ども読書支援センターの資料を市町村立図書館等へ貸し出し、住民の図書館利用や読書活動を支援した。

また、市町村立図書館等を延べ104館訪問し、図書館運営等に関する助言や情報提供を行ったほか、電話やメールでの相談に対応した。



▲市町村立図書館向けセット資料を貸出し▲

❖参考DATA

県立図書館から市町村立図書館等への年間貸出冊数：(R1) 21,319冊  
 県立図書館への市町村立図書館等からの相談件数：(R1) 125件

③市町村立図書館等職員の育成

市町村立図書館等の職員を対象とした図書館の運営に関する研修会を県立図書館で開催したほか、市町村立図書館等への出前型研修を実施した。

また、地域の読書推進の取組を主体的に実施できるリーダー的な役割を担う職員の育成を図った。



▲県立図書館での研修の様子



▲出前型研修会の様子

❖参考DATA

「研修に満足した」と答える参加者の割合：(R1) 98.3%

◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

(1) 読書ボランティア等への支援

## ①地域の読書活動を支える人づくり

市町村立図書館や学校・保育園等において読み聞かせ・朗読等を行う読書ボランティアを新規に養成するための講座を県内各地区において実施した。

また、全県の読み聞かせボランティアの参加を募り、各自のスキルの向上とネットワーク構築を図るための交流会を開催した。令和元年度は、高校生が読み聞かせ活動の事例発表を行うなど、幅広い世代のボランティアが交流する機会となった。

### ○「読み聞かせボランティア養成講座」

3会場（能代市、秋田市、横手市） 参加者合計128名

### ○「全県読み聞かせボランティア交流会」

ふれあーるAKITA（秋田市） 参加者54名

#### 【参加したボランティアの感想】

- ・読み聞かせの考え方、やり方の幅が広がり、楽しかった。
- ・絵本の選び方で参考になる話が聞けた。
- ・いろいろな活動を知ることができてよかった。悩みを話し合うことができた。



▲読み聞かせボランティア養成講座



▲全県読み聞かせボランティア交流会

#### ❖参考DATA

「研修に満足した」と答える参加者の割合：(R1) 98.0%

#### ❖参考DATA

##### ○読書ボランティアの活動状況

- ・地域内のみで活動しているボランティアが多く、広域的な交流の機会やネットワークの形成が課題となっている。
- ・県内の公立図書館等で活動するボランティア団体数（各教育事務所調査より）

	県北地区	中央地区	県南地区	合計
H29	28団体	52団体	26団体	106団体
H30	32団体	52団体	26団体	110団体
R1	29団体	52団体	26団体	107団体

## ②読み聞かせ団体等への活動支援

県内の読み聞かせ団体等の活動を支援するため、県立図書館と県子ども読書支援センターがボランティア団体等への資料の貸出しを行った。

### ❖参考DATA

県子ども読書支援センターからボランティア団体等への年間貸出冊数  
: (R1) 5,648冊  
県立図書館からボランティア団体等への年間貸出冊数 : (R1) 713冊

## (2)「秋田県読書フェスタ」の開催

10月19日(土)～11月4日(月)に秋田県読書フェスタを開催し、全県で206イベントを実施した。期間中は、中学生・高校生ビブリオバトル大会等の県主催事業のほか、市町村の図書館・公民館等で、おはなし会や図書展示、講演会等が行われ、子どもから大人まで幅広い世代の県民に、読書に親しむ機会を提供した。

### ❖参考DATA

「秋田県読書フェスタ」における県主催の読書イベントの参加人数  
: (R1) 1,973人

## (3) デジタルアーカイブの活用促進

県内の教育機関や県立図書館等が所蔵している資料等の情報を一元的に検索できるポータルサイト「秋田県立図書館デジタルアーカイブ」により、県民への情報提供サービスを行った。

### ❖参考DATA

秋田県立図書館デジタルアーカイブの登録データ数  
: (R1) 605,687件  
閲覧回数 : (R1) 33,557件

### ※デジタルアーカイブ

#### 参加機関

県立図書館、あきた文学資料館、  
県立博物館、近代美術館、  
埋蔵文化財センター、  
生涯学習センター、公文書館



## 4 県民協働による読書活動の推進

### ◆あなたの「読みたい！」をサポートします

#### (1) 県と市町村との協働による推進体制の強化

「秋田県読書活動推進連絡協議会」の全体会と地区会議を開催し、県民の読書環境の充実に向けた意見交換や優良事例の共有を行ったほか、「企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）」を活用した「読書活動推進パートナー支援事業」を10市町村で実施するなど、県と市町村が協働で地域における読書環境の充実に取り組んだ。

##### 令和元年度秋田県読書活動推進連絡協議会の活動

##### ○全体会と県内3地区の地区会議を開催

全体会 令和元年5月15日（水）秋田市

地区会議 県北地区 令和元年8月28日（水）能代市

県央地区 令和元年8月28日（水）由利本荘市

県南地区 令和元年8月23日（金）美郷町

##### ○役員

会長 総合政策課長

副会長 県北地区 能代市企画部次長兼総合政策課長

県央地区 由利本荘市総合政策課長

県南地区 美郷町生涯学習課長

※任期2年

##### ○構成

市町村 企画担当課長／教育委員会読書活動推進担当課長

県 総合政策課長／教育庁総務課長・生涯学習課長

##### ○令和元年度テーマ

「読書に親しむことができる環境づくりを進めていくためには」

## (2) 県民の寄贈によるリレー文庫の普及



子どもたちの身近な場所での読書環境づくりや、大人の読み聞かせを進めるため、県民から寄贈された絵本や児童書を手入れした上で、保育所や医療機関などに配布し、子どもたちに読書の楽しさをリレーした。

◀「読んだッチ・リレー文庫」のポスター

### ◆参考DATA

読んだッチ・リレー文庫の状況：(R1)

寄贈冊数1,006冊、寄贈者数81人

配布施設数36か所

## (3) 青少年健全育成における読書活動の推進

秋田県青少年の健全育成と環境浄化に関する条例に基づき青少年の健全な育成を図る上において有益な図書を推奨するために、県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」への掲載などを行い、県民への周知を図った。

### 2020年3月10日推奨 優良図書

#### 競歩王

著者：額賀 滯 発行所：株式会社光文社

#### ■推奨理由

スランプに陥った大学生作家と、箱根駅伝の夢が破れ競歩に転向した陸上選手が、互いに影響しあいながら、自分の進むべき道を模索していく物語。天才高校生作家としてデビューした榛名忍だったが、その後の刊行作は振るわず、自信を喪失していく。そんな中、東京オリンピックを題材にした次回作の話があり、口にした競技が「競歩」だった。特別な思いはなかったが、取材対象の大学の後輩八千代の練習を見続けているうちに、榛名の意識が大きく変わっていく。もがき苦しみながらも自分に勝とうと必死に健闘する二人の姿をみてもらいたい本である。(令和元年9月出版)



## (4) 高齢者への読書活動推奨

高齢者の読書活動を一層推進するため、軽費老人ホームなど、老人福祉施設へ指導監査のため訪問する際には、高齢者の読書の推進・地域の図書館の活用方法等について情報提供した。

また、高齢者が参加する出前講座では、図書館から大活字本やシニア向けの健康に関する本などを借用して紹介したり、「ふるさと秋田文学賞」

の受賞作品など身近な場所を舞台とした作品の読み聞かせをするなどして、高齢者の読書意欲を喚起した。

高齢者が参加した出前講座

6月19日(水) 潟上市天王公民館「はまなす学級」 (参加者約25名)

7月29日(月) 秋田市八橋あけぼのくらぶ (参加者約15名)

## (5) 視覚障がい者の読書推進

障がい者の読書機会の充実を目指して、秋田県点字図書館においてボランティアを中心に点字図書や音声図書等の製作を行い、視覚障がい者への図書提供サービスの向上に努めた。

○製作	点字図書	: 144タイトル
	音声図書	: 150タイトル
○貸出し	点字図書	: 321タイトル
	音声図書	: 7,087タイトル
	定期刊行物	: 9,633タイトル

## (6) 民間企業・団体等との連携による読書活動の推進

### ①雑誌スポンサー制度\*の充実

企業が雑誌のスポンサーとなり、県立図書館や市町村立図書館等への雑誌の提供を行い、雑誌コーナーの充実を図った。

また、県立図書館では、企業活動を県民に周知するための雑誌スポンサー紹介コーナーの設置や、スポンサー同士の情報交換・研修を目的とした交流会を開催した。



▲雑誌スポンサー紹介コーナー

▲雑誌スポンサー交流会「ビジネスカフェ」

### ※雑誌スポンサー制度

図書館の雑誌に民間企業等の情報発信を組み込み、雑誌コーナーの充実を図ることを目的とした資料寄贈の制度。選書は図書館で行い、スポンサー企業は購読料を負担する。対象となる雑誌には専用カバーを取り付けてあり、スポンサーとなっている企業名や広告を表示することができる。

### ❖参考DATA

公立図書館のスポンサー企業数：(R1) 80企業



## ②外部機関等と連携した図書館利用促進

県立図書館の情報提供機能を一層充実させるため、県の関係機関等と連携した展示等を行った。



▲県立博物館と連携した特別展示

▲秋田大学医学部附属病院との連携による『がん情報セミナー』

### ❖参考DATA

外部機関等と連携したイベント開催回数：(R1) 61回

イベント参加者数：(R1) 15,370人

## ③書店団体等と連携した読書活動の推進

書店の多くが、市町村立図書館等と連携して地域の読書拠点となっていることから、イベントポスターの配布やSNSでの情報のシェアを行った。

また、秋田県書店商業組合と連携して、SNSを活用した県出身著名人のサイン本等をプレゼントする「読書の秋だ！県民読書の日キャンペーン」を実施したほか、「ふるさとの文学と読書のつどい2019」など各読書推進事業の会場でゲストが推薦する本や関連する絵本等の販売を行い、参加者が直接本に触れる機会を提供するなど、県民の読書活動を推進した。

▲読書の秋だ！県民読書の日キャンペーン

## ◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

### (1)「ビブリオバトル」の普及と大会開催

中学生・高校生ビブリオバトルの地区大会を県内7地区で実施し、90名が出場した。12月8日(日)の全県大会には地区代表の13名が出場し、チャンプに選ばれた出場者が、令和2年1月に東京で行われた全国大会に県代表として参加した。

また、全県大会の会場で、各高校図書委員会のお薦め本の紹介パネルの展示や書店による書籍販売を行うなど、出場者、来場者がともに新たな読書のきっかけを得ることのできる場を提供した。



◀全県大会に出場した  
中・高校生バトルー

○令和元年度ビブリオバトル全県大会で紹介された本

#### 【中学生の部】

- 「ガラスの城壁」(神永 学/著) **チャンプ本**
- 「非常識な成功法則」(神田 昌典/著) **準チャンプ本**
- 「きみの友だち」(重松 清/著)
- 「今日も嫌がらせ弁当」(ttkk(kaori)/著)
- 「高校事変」(松岡 圭祐/著)
- 「総理にされた男」(中山 七里/著)
- 「ヒトラーのはじめたゲーム」(アンドレア・ウォーレン/著)

#### 【高校生の部】

- 「ひと」(小野寺 史宜/著) **チャンプ本**
- 「空中ブランコ」(奥田 英朗/著) **準チャンプ本**
- 「かがみの孤城」(辻村 深月/著)
- 「きみの分解パラドックス」(井上 悠宇/著)
- 「青少年のための小説入門」(久保寺 健彦/著)
- 「よるのばけもの」(住野 よる/著)

#### ❖参考DATA

ビブリオバトル参加後「読書がしなくなった」と答える参加者の割合  
:(R1) 97.6%

## (2) 「読書絵はがきコンクール」の開催

令和元年度は「読書絵はがきコンクール」は開催しなかったが、「読書が広がるホップ・ステップ・ジャンプ事業」の「POP作り研修講座」により、お薦め本を手書きのイラストや言葉を添えて紹介するPOPの作り方を高校生に学んでもらい、学校図書館で本の紹介に活用した。

## (3) 幼少期からの読書活動推進体制の強化

市町村の読書推進担当者が出席する会議等において、「子ども読書活動推進計画」の策定状況や県教委が実施する施策について報告し、子どものための読書環境整備への理解と協力を求めた。

また、市町村訪問等の機会を活用して読書推進を担う現場の課題やニーズを把握して施策への反映に努めた。

## (4) 「県民読書の日」の啓発

11月1日の「県民読書の日」に合わせ、「ふるさとの文学と読書のつどい2019」を実施するなど、県民の読書活動推進のための各種イベントの開催や広報等を行った。

また、「県民読書の日」制定記念事業として創設された「ふるさと秋田文学賞」の作品募集と受賞作品集の刊行を行い、県民の読書意欲を喚起した。



▲第1部 「県民読書の日」制定記念  
第6回ふるさと秋田文学賞 表彰式



▲第2部 トークライブ  
「押尾川親方と元祖爆笑王の  
どすこい、読書！」

## 「ふるさとの文学と読書のつどい2019」の概要

- 1 目的  
「県民読書の日（11月1日）」制定を記念して創設した「ふるさと秋田文学賞」の第6回表彰式と、読書をテーマにしたトークライブ等を実施することにより、県民総ぐるみで「日本一の読書県」を目指す読書活動の気運を高める。
- 2 主催  
秋田県
- 3 協力  
秋田県書店商業組合 秋田県花いっぱい運動の会
- 4 開催日時  
令和元年10月26日（土） 13:30～15:30
- 5 会場  
秋田市にぎわい交流館AU（あう）3階 多目的ホール
- 6 参加人数  
約230名
- 7 内容  
第1部 「県民読書の日」制定記念 第6回「ふるさと秋田文学賞」表彰式  
第2部 トークライブ「押尾川親方と元祖爆笑王の どすこい、読書！」  
(出演) 押尾川親方(元関脇豪風)  
元祖爆笑王(放送作家/能代市出身)

### 第6回「ふるさと秋田文学賞」

#### ○受賞作品

##### 【小説の部】

《ふるさと秋田文学賞》

BASEBALL CLOUD

こうづきふみお

上月 文青（宮城県仙台市）

《同 佳作》

颯爽と雪解け道

かたぎりたけふみ

片桐 健文（埼玉県さいたま市）

##### 【随筆・紀行文の部】

《ふるさと秋田文学賞》

遊びにおいでよ

えばた えり（秋田県由利本荘市）

《同 佳作》

三度目の成人式

なすあつし

那須 厚（秋田県秋田市）

#### ○応募状況

- ・応募作品数 132点（小説66点 随筆・紀行文66点）
- ・県内44点 県外87点、国外1点（フランス）

#### ❖参考DATA

「ふるさとの文学と読書のつどい」参加者アンケートで、  
「県民読書の日」を知っていると答える参加者の割合

: (R1) 84.8%

第6回ふるさと秋田文学賞受賞作品集▶



## (5) 読書の楽しさを伝えるために活動している県民の紹介

絵本の読み聞かせや人形劇に取り組むボランティアグループ、郷土にゆかりのある作家の研究会、一冊の本を「点字」に訳す活動をしているボランティアなどを取材し、行動人ウェブサイトで紹介した。令和元年度の紹介者数は2人で、平成27年度からの累計は731人を数える。

※詳細は「行動人」紹介ウェブサイト参照

また、若者を中心とした県民の読書意欲を喚起するため、特長のある取組をしている書店やブックカフェの経営者及び読書に関連した情報を発信している人など9名を「まちなかBOOKリーダー」として取材し、SNSやウェブサイトで紹介した。



◀▲「まちなかBOOKリーダー」の取組をTwitterで紹介

## 5 効果測定項目と数値目標・実績一覧

(表の見方)

◆「施策の柱」欄

- I 家庭における読書活動の推進………19項目
  - II 学校・職場における読書活動の推進………21項目
  - III 地域における読書活動の推進………13項目
  - IV 県民協働による読書活動の推進………11項目
- 計 64項目

施策の柱	施策	効果測定項目	数値実績						ページ	
			H27	H28	H29	H30	R1	R2目標		
I	「家族で読書」運動の提唱と普及	週3時間以上(または1日30分以上)読書をする人の割合	54.4%	47.9%	40.1%	44.1%	43.8%	70.0%以上	9	
		子ども向け資料の充実	0～12歳の年間新規登録者数	510人	450人	455人	451人	463人	570人	9
		子どもの読書に関する相談活動、おはなし会等の充実	相談件数	140件	139件	224件	286件	332件	150件	9
			おはなし会実施回数	21回	24回	24回	24回	23回	23回	9
			おはなし会参加人数	580人	592人	577人	676人	663人	690人	9
		医療・保健分野との連携による子どもの読書習慣づくり	協力病院等数	—	184施設	179施設	—	—	50施設	10
		中・高校生の読書推進	13～18歳の年間新規登録者数	219人	201人	157人	179人	155人	300人	10
		高齢者向け資料の整備、シニアコーナーの充実	60歳以上の年間新規登録者数	297人	292人	277人	260人	275人	360人	10
		高齢者などへの読書支援	電話(対面)朗読ボランティア活用者実数	9人	11人	14人	12人	22人	50人	11
		県立図書館の資料の整備と充実	年間購入冊数	14,059冊	14,894冊	13,967冊	14,250冊	14,063冊	※1 約13,500冊	11
		生活課題解決のための読書や図書館利用の促進	「取組を知っている」と答える利用者の割合	4.0%	隔年調査	68.0%	隔年調査	66.9%	30.0%	12
			「取組に満足している」と答える利用者の割合	—	上記と同時調査	85.9%	上記と同時調査	67.9%	60.0%	12
			市町村立図書館等のサービス実施館数	40館	43館	51館	56館	56館	50館	12
		県民の読書ニーズに対応できるサービス機能の強化	「レファレンス・サービスを知っている」と答える利用者の割合	33.0%	隔年調査	59.6%	隔年調査	53.1%	50.0%	12
			「レファレンス・サービスに満足している」と答える利用者の割合	—	上記と同時調査	91.1%	上記と同時調査	84.0%	60.0%	12
		電子書籍を活用した図書館サービスの充実	電子書籍所蔵点数	4,906点	4,906点	4,906点	4,906点	—	10,000点	—
			年間利用点数	289点	70点	24点	84点	—	1,000点	—
		ホームページやブログ等を活用した情報発信	県立図書館ホームページのアクセス数	265,337件	250,146件	243,945件	241,872件	235,195件	270,000件	13
			「あきたブックネット」のアクセス数	908件	4,932件	9,347件	544,451件(Twitter) ※2	1,510,644件(Twitter) ※2	2,000件	13
<b>I 家庭における読書活動の推進 計19項目</b>										

※1～H26の購入実績を基準とみなした冊数。

※2～H30から「あきたブックネット」を「美の国あきたネット」内に特設ページとして移設したことにより、アクセス数の集計ができなくなったため、Twitterへのアクセス数を数値実績として掲載。

※3～平均的な単価を1,600円として現行予算で算出した冊数。

※4～H27年度から訪問形態を各市の中央図書館での集合型に変更。相談が集約される傾向にあるため。

※5～市町村立図書館等を通じた地域ボランティア支援の定着化傾向とH27年度実績見込みから推定。

施策の柱	施策	効果測定項目	数値実績						ページ	
			H27	H28	H29	H30	R1	R2目標		
20	II	就学前施設における読み聞かせの推奨	受講者の肯定的評価の割合	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	100.0%	90.0%	14
21		小・中学生における取組	「読書が好き」と答える児童生徒の割合（H30は調査なし）	55.1%	55.1%	55.0%	—	49.3%	70.0%	14
22		特別支援学校における取組	校内の読書環境の整備と改善に定期的に取り組んでいる学校の割合	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	15
23		学校図書館の活性化支援 (情報提供や貸出による支援)	小・中学校、高等学校、特別支援学校の事例紹介数	7件	14件	13件	32件 (訪問学校数)	36件 (訪問学校数)	(累計) 50件	15
24			学校図書館への年間貸出冊数	9,737冊	10,942冊	11,147冊	18,125冊	18,169冊	10,000冊	16
25			学校向け図書の間年購入冊数	355冊	2,419冊	1,966冊	2,365冊	2,202冊	※3 300冊	16
26		県立学校図書館職員等への研修機会の提供	「研修に満足した」と答える参加者の割合	—	96.0%	96.0%	100.0%	97.4%	80.0%	16
27		地域開放に向けた取組	「週に1回以上学校図書館等に行く」と答える児童生徒の割合（H30は調査なし）	13.7%	13.4%	12.6%	—	15.8%	20.0%	17
28			学校図書館を地域に開放している学校の割合（隔年調査→5年毎調査）	(H26) 2.6%	5.1%	—	—	—	10.0%	—
29		大学図書館と県立図書館との連携強化	大学図書館との相互貸借の年間貸出冊数	401冊	349冊	367冊	236冊	303冊	350冊	17
30			大学図書館との相互貸借の年間借受冊数	43冊	66冊	47冊	39冊	52冊	60冊	17
31		職場における読書環境の整備 (企業内文庫の設置)	「1日平均30分以上読書をしている」と答える30～40歳代の割合	30歳代 46.1%	35.2%	29.6%	37.5%	35.0%	55.0%	17
				40歳代 47.7%	32.4%	32.1%	35.0%	37.2%	55.0%	17
32		女性の活躍を応援する読書活動の推進	「1日平均30分以上読書をしている」と答える女性の割合	52.6%	47.8%	41.3%	43.6%	43.1%	70.0%	17
33		仕事や就労に関連する読書支援	「取組を知っている」と答える利用者の割合	4.0%	隔年調査	66.7%	隔年調査	64.1%	30.0%	18
34			「取組に満足している」と答える利用者の割合	—	上記と同時調査	70.4%	上記と同時調査	60.0%	60.0%	18
35			市町村立図書館等のサービス実施館数	13館	15館	14館	18館	20館	20館	18
36		高校生の主体的な読書活動の充実	1か月に1回以上学校図書館等を利用する生徒の割合	19.3%	22.3%	22.8%	22.7%	23.1%	40.0%	19
37			1か月に本を1冊以上読む生徒の割合	59.9%	57.6%	60.4%	61.0%	61.3%	70.0%	19
38		特別支援学校における読書活動の充実	様々な読書活動に関わり、本に親しんだ幼児・児童・生徒の割合	75.0%	97.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	19
39	図書館における読書への興味・関心を高める取組	「セカンドスクールの利用等に満足した」と答える児童・生徒・学生の割合	—	93.8%	77.8%	89.6%	90.2%	80.0%	20	
40		「図書館の仕事・役割を理解した」と答える児童・生徒・学生の割合	—	95.3%	97.8%	100.0%	100.0%	80.0%	20	
<b>II 学校・職場における読書活動の推進 計21項目</b>										

施策の柱	施策	効果測定項目	数値実績						ページ
			H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
Ⅲ	様々な県民運動との連携による読書活動の推進	「満足した」と答える参加者の割合	—	79.7%	74.4%	97.0%	92.8%	80.0%	21
	県児童会館での子どもの読書活動の推進	県子ども読書支援センターから県児童会館図書室への資料貸出冊数	1,226冊	1,033冊	1,051冊	837冊	593冊	1,200冊	22
	「子ども読書の日」の周知と取組奨励	実施市町村数と取組件数	25市町村 150件	25市町村 195件	25市町村 220件	25市町村 199件	25市町村 176件	25市町村 200件	22
	生涯学習としての読書活動の奨励	講座や読書活動で生涯学習手帳を活用している市町村の割合	72.0%	84.0%	96.0%	100.0%	100.0%	100.0%	23
	県立図書館の支援による利用促進	市町村立図書館等への年間貸出冊数	23,747冊	22,682冊	24,403冊	22,556冊	21,319冊	22,000冊	24
		市町村立図書館等からの相談件数	199件	175件	182件	124件	125件	※4 220件	24
	市町村立図書館等職員の育成	「研修に満足した」と答える参加者の割合	—	96.5%	100.0%	100.0%	98.3%	85.0%	24
	地域の読書活動を支える人づくり	「研修に満足した」と答える参加者の割合	—	100.0%	97.1%	97.0%	98.0%	85.0%	25
	読み聞かせ団体等への活動支援	県子ども読書支援センターから読書ボランティア団体等への年間貸出冊数	2,776冊	2,720冊	3,483冊	6,422冊	5,648冊	2,500冊	26
		県立図書館からボランティア団体等への年間貸出冊数	748冊	542冊	545冊	714冊	713冊	※5 700冊	26
	「秋田県読書フェスタ」の開催	県主催の読書イベントの参加人数	1,571人	1,636人	1,075人	1,363人	1,973人	1,900人	26
	秋田県立図書館デジタルアーカイブの活用促進	登録データ数	601,879件	606,957件	607,193件	607,284件	605,687件	615,000件	26
		閲覧回数	29,522件	33,400件	37,225件	39,515件	33,557件	30,000件	26
<b>Ⅲ 地域における読書活動の推進 計 13 項目</b>									

施策の柱	施策	効果測定項目	数値実績						ページ
			H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
Ⅳ	県と市町村の協働による推進体制の強化	読書活動に関する市町村との意見交換会における意見等についての施策への反映	反映状況は年次報告書に記載						27
	県民の寄贈によるリレー文庫の普及（H29年度～「リサイクル文庫」から名称を変更）	リレー文庫寄贈冊数 配布施設数	2,418冊 49施設	2,363冊 129施設	2,269冊 86施設	1,195冊 39施設	1,006冊 36施設	1,800冊 80施設	28
	視覚障がい者の読書推進	点字・音声による図書の製作・貸出数	製作251件 貸出7,399件	製作243件 貸出7,298件	製作353件 貸出6,538件	製作258件 貸出6,782件	製作294件 貸出7,408件	製作550件 貸出8,200件	29
	雑誌スポンサー制度の充実	公立図書館のスポンサー企業数	57企業	65企業	70企業	68企業	80企業	60企業	29
	外部機関等と連携した図書館利用促進	イベント開催回数	61回	64回	67回	57回	61回	60回	30
		イベント参加者数	23,267人	21,070人	22,313人	11,852人	15,370人	23,000人	30
	「ビブリオバトル」の普及と大会開催	ビブリオバトル参加後「読書がしたくなった」と答える参加者の割合	—	95.6%	92.8%	97.4%	97.6%	80.0%	31
	「読書絵はがきコンクール」の開催	作品展を実施する図書館等の数	1館	4館	2館	—	—	6館	32
	幼少期からの読書活動推進体制の強化	秋田県子ども読書活動推進会議における協議内容の施策への反映	反映状況は年次報告書に記載						32
	「県民読書の日」の啓発	「県民読書の日」を知っていると答える参加者の割合	—	78.8%	38.5%	75.0%	84.8%	50.0% 以上	33
	読書の楽しさを伝えるために活動している県民の紹介	読書活動関連「行動人」数(累計)	125人	307人	711人	729人	731人	625人	34
	<b>Ⅳ 県民協働による読書活動の推進 計 11 項目</b>								







© 2015 秋田県んだッチ